

# 令和2年度南浜中学校教育ビジョン

教育関係法規  
学習指導要領  
新潟市教育ビジョン  
新潟市学校教育の重点等

**教育目標**  
深く考え 心豊かに 実践する生徒

## 当校の課題

- 家庭学習習慣が十分に身に付いていない。
- 時間管理が不十分で、スマホやゲームの弊害が見られる
- 生徒数が減少する傾向にある。
- 人間関係能力が弱く、対人関係に不安定さがある。
- 向上心、主体性、自己表現力に課題がある
- 指導上特別な配慮や支援が必要な生徒がおり、その対応が必要である。

## 働き方改革

- ・時間外務の削減
- ・年休取得推進
- ・部活動ガイドラインの遵守

## 基本姿勢

- 3C (Challenge, Change, Comfort) 1UPプロジェクト3  
～常識のレベルを上げる～
- 持ち味とチャンスを生かし  
一人一人が輝く全員主役の学校

## 重点目標 (目指す生徒像)

### ○ これからの社会をよりよく生きぬく生徒

- ・自ら課題を設定し、課題解決に向けて、主体的に行動する
- ・自他の違いを認め合い、他を尊重しつつかわり合い、合意形成する
- ・社会の変化に対応し、柔軟な発想と豊かな表現で未来を構想する
- ・世界的視野で考え、地域での活動を通して、地域貢献や社会貢献する

## 主体的な学び

- 1UP組織目標：振り返りを核に授業改革を進め、深い学びによる、目指す資質・能力の育成を図る
- 振り返りを充実させる課題設定、振り返りの文章化による深い学び
  - 振り返りと家庭学習を接続するシンカタイムの見直し
  - 目指す資質・能力を育成する、積極的な「しかけ」による、主体的・対話的で深い学びへの授業改革
  - 総合的な学習の時間を中心にした、探究活動の質の向上を目指す、教科横断的な学習

## 自律性と社会性

- 1UP組織目標：向上心と自浄作用で自律性を高め、良好なコミュニケーションで人間関係能力の向上を図る
- あいさつの質の向上と臨機応変な対応力・応用力の育成
  - より高い目標を設定し、その達成に向けて考え努力しようとする向上心の育成
  - 規範意識とセルフマネジメント力の向上→自律性の育成
  - 対人関係能力を高める、SST、SGEの計画的実践
  - 特別活動を核に、自主的活動を通じた、合意形成能力、自尊感情の向上

## 共生教育

- 1UPの方向性：生徒1人1人の見取りを徹底し、ニーズに合わせた合理的配慮を提供する
- 取り組みやすいユニバーサルデザインによる授業
  - 特性のある生徒への合理的配慮に関する共通理解
  - 南浜中スタンダード10のバージョンアップ
  - かわり合い、話し合い、FTの進め方・配慮事項の共通理解
  - SDGsを念頭に、世界的視野で考え、地域で行動するESD、人権教育、同和教育

### <達成基準> 昨年度

新潟市学習意識調査のアンケートにおける、「授業の振り返りをすることで、学んだことについて復習したり、次の予習をしたりするなど、学習を深めるようになった」と「宿題以外にも自主学習をしています」の項目を3段階評価し、最も肯定的な評価が60%以上の学年が3つの学年・・・A 2つの学年・・・B, 1つの学年、またはなし・・・C

### <達成基準> 昨年度

アンケートで「生活習慣の改善に繋がった」  
A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満  
アンケートで「自ら進んで挨拶することができる」  
A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満  
アンケートで「リーダー会議を通して学校や委員会の課題を共有し、改善に向けて主体的に取り組むことができた」  
A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満

### <達成基準> 昨年度

令和元年版「南浜中スタンダード10」を作成する  
A・・・5月末までに作成した B・・・6月以降に作成した C・・・作成しなかった  
年間2回の「南浜中スタンダード10」生徒アンケートで肯定的な回答が  
A・・・90%以上 B・・・70%以上 C 70%未満  
UDLに関する職員研修を前後期1回ずつ以上実施する  
A・・・前後期に1回ずつ以上 B・・・前後期どちらか1回 C・・・年間で1回未満

**健康・体力の向上、基本的生活習慣の確立**： 1UPの方向性：三点固定を徹底し、自らの手で生活習慣の改善を図る

- グリーンノート、学習計画表を活用した、三点固定の徹底
- 時間管理の意識を高めることによるメディアコントロール
- スマホ・SNSに関する生徒の主体的な取組によるルール作り
- 体力の向上を目指した、授業や部活動、その他の活動での工夫と充実

**三点固定：起床時間、学習開始時間、就寝時間**

**地域連携ネクストステージ**： 1UPの方向性：社会に開かれた教育課程に向けた地域連携の再構築を図る

- 単元配列表を活用した、活動の整理と意味づけによる教科横断的な学習
- 持続可能な地域連携と教育課程への位置づけ
- コミュニティスクールを意識した、地域連携の再点検と再構築
- 学びの拠点作りを核にした、地域連携の推進
- キャリア教育の視点から、外部の人材を活用した多様な教育活動の展開
- 広報活動、情報発信の充実・改善

## 校種間連携

- 9年間を見通した小中連携事業（南浜中学校区教育研究会）
- 学生との協働による人材育成支援事業

## 全教職員の参画による学校改革

- ◇ベクトルをあわせた学校改革=1UPプロジェクト3と教職員人事評価をリンクさせ、PDCAサイクルを回す ⇒ 教職員の資質・能力の向上
- ◇働き方改革を念頭に、効率的・効果的で活気あふれる学校運営を行う ⇒ 保護者・地域との連携、労力対効果、無理・無駄のない活動